

横須賀市大津町の 更新統横須賀層大津砂泥部層 から産出した無脊椎動物化石

柴田健一郎*・倉持卓司**・蟹江康光***

Invertebrate fossils from the Pleistocene
Otsu Sand and Mud Member, Yokosuka
Formation, Otsu-cho, Yokosuka City

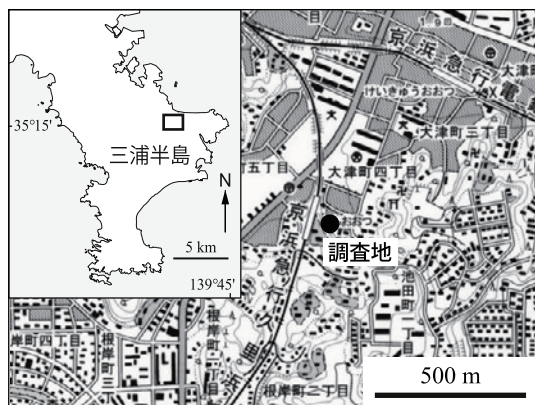
SHIBATA Kenichiro*,
KURAMOCHI Takashi**,
and KANIE Yasumitsu***

キーワード：無脊椎動物化石, 大津砂泥部層, 更新世,
横須賀市, 神奈川県

Key words: invertebrate fossil, Otsu Sand and Mud
Member, Pleistocene, Yokosuka City,
Kanagawa Prefecture

はじめに

横須賀市大津町4丁目（京浜急行線新大津駅の東方
約20m, 第1図）の宅地造成に伴って露出した地層とそ
の産出化石について、筆者らは2013年12月14日に現地



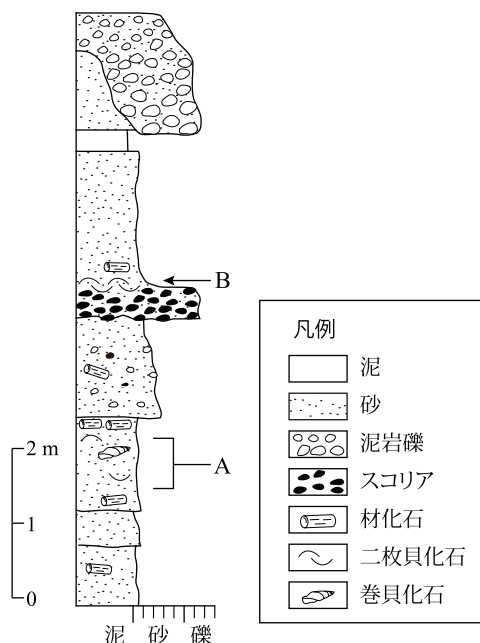
第1図. 調査地の位置. 地形図は国土地理院発行2万5千
分の1地形図「横須賀」を使用.

調査を行った。本稿ではその地層を記載し、産出化石
のリストを示す。なお、この露頭は、すでに人工的に覆
われ、消失した。

地層の記載

地層は北西—南東方向に幅約20 m, 高さ約8 mの
規模で露出した。地層の大部分は灰白色で未固結の極
細粒砂からなり、露頭の下部～中部では中礫サイズの泥
岩礫やスコリアが散在する。露頭の中部では、よく円磨
された中礫サイズのスコリアからなる礫層が1枚認めら
れた。極細粒砂には平行層理が弱く発達する。露頭の
最上部では中礫サイズの泥岩からなる礫層が、下位の
地層を最大で100 cm程度削り込んで重なる様子が認め
られた（第2図）。これらの地層の傾斜はほぼ水平であっ
た。

露頭の大部分を構成し、スコリア礫層や泥岩礫を含



第2図. 調査地の地質柱状図. A, Bは無脊椎動物化石の
産出層準を示す.

* 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95

** 葉山しおさい博物館 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2123-1

*** あーすコンサル 〒249-0004 神奈川県逗子市沼間2-9-4-405

原稿受付 2014年9月29日. 横須賀市博物館業績 第690号.

む極細粒砂は、岩相の特徴や地層の傾きが水平であることから、上部更新統の横須賀層大津砂泥部層（蟹江ほか, 1977; 江藤ほか, 1998）と考えられる。一方、最上部の泥岩礫層は、著しい侵食面を伴って重なることから、より新しい時代の堆積物の可能性が考えられる。

産出化石

極細粒砂からは材化石や無脊椎動物化石（第1表）が産出した。材化石は露頭の下部から中部に散在的に含まれ、露頭の下部で材化石が密集した1層準が見られた。無脊椎動物化石は露頭の下部と中部から産出した。露頭の下部（第2図の層準A）では比較的保存状態のよいホソウミニナ、ウミニナ、マガキ、イタボガキ、アサリが散在的に見られたが、二枚貝はすべて離弁状態であった。露頭中部のスコリア礫層の直上（第2図の層準B）では離弁殻からなるマガキが密集して見られ、貝殻は水平方向や鉛直方向のものが見られた。また、この層準には破損したアカフジツボの側板がわずかに含まれていた。

マガキの密集層（第2図の層準B）は離弁殻で構成されること、直下の礫層のスコリアは円磨されていることから、この化石密集層は波浪や潮流によって運搬され選択的に密集したか、細粒な堆積物がバイパスすることによって形成された可能性が考えられる。一方、露頭の下部（第2図の層準A）から散在的に産出する化石は保存状態がよく、波浪や潮流の影響をあまり受けずに保存

されたと考えられる。現生種の生息深度や生息環境に基づくと、露頭下部（第2図の層準A）の古環境として内湾の潮間帯、もしくは干潟の環境が推定できる。この結果は、走水団研グループ（1965）と蟹江ほか（1994）が大津砂泥部層の軟体動物化石に基づいて推定した、外洋の寒暖両流が流れ込む内湾、または外洋に面する陸棚斜面と比較して、より岸に近い環境である。

謝 辞

調査に同行いただいた三浦半島地盤研究会のメンバーに感謝申し上げます。

引用文献

- 江藤哲人・矢崎清貫・卜部厚志・磯部一洋 1998. 横須賀地域の地質. 128ページ. 地域地質研究報告（5万分の1地質図幅）, 地質調査所.
- 走水団研グループ 1965. 三浦半島小原台付近の第四系. 地球科学, (80): 1-11.
- 蟹江康光・新井重三・長沼幸男・大越 章・長田敏明・高橋輝男 1977. 三浦半島東部, 横須賀付近の第四系. 地質雑, 83: 157-168. 図版1.
- 蟹江康光・横山芳春・渡辺政美・浅見茂雄 1994. 横須賀市馬堀町の更新世横須賀層大津層産軟体動物化石リスト. 横須賀市博研報（自然）, (42): 83-84.

第1表. 無脊椎動物化石のリスト. 層準A, Bは第2図を参照.

		A	B
軟体動物門	Mollusca		
腹足綱	Gastropoda		
ホソウミニナ	<i>Batillaria attramentaria</i> (Sowerby, 1855)	+	
ウミニナ	<i>Batillaria multiformis</i> (Lischke, 1869)	++	
二枚貝綱	Bivalvia		
マガキ	<i>Crassostrea gigas</i> (Thunberg, 1793)	+	+++
イタボガキ	<i>Ostrea denselamellosa</i> Lischke, 1869	+	
アサリ	<i>Venerupis philippinarum</i> (A. Adams & Reeve, 1850)	+	
節足動物門	Arthropoda		
顎脚綱	Maxillopoda		
アカフジツボ	<i>Meganalanus rosa</i> (Pilsbry, 1916)		+

+++ : abundant, ++ : common, + : rare